

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー月信

May
2025

5

Vol.11



2024-2025年度 第2540地区 スローガン

『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』

ロータリー特別月間 5月 | 青少年奉仕月間

2024-25年度 ガバナー
佐藤 和志

2024-25年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



ガバナーメッセージ

やり残したこと、ありませんか

国際ロータリー第2540地区
2024-2025年度ガバナー

さとう かずし
佐藤 和志



今年の春は、寒暖の差が大きく体調を崩される方が多いと聞きますが、皆様は元気にお過ごしでしょうか。さて、私のガバナーとしての任期も、いよいよ残すところ5月6月の2カ月となりました。これまで過ごした10カ月余りは、私にとって光陰矢のごとく瞬く間に過ぎてしまった思いであります。そこで「やり残したことは何か」であります。

各クラブへの公式訪問に始まり、会員拡大増強をお願いした分区協議会や地区協議会。また地区大会ではRI会長代理として能楽師の畑岡久太郎ご夫妻様においでを頂きましたし、基調講演では漫画家で作家のヤマザキ マリさんをお迎えし、「テルマエ・ロマエと私」と題して最新作と秋田弁やイタリアの歴史などバラエティーな内容で、一般 聴講者の皆様にも大いに喜んで頂きました。しかし他地区での地区大会へ参加をしますと、とても刺激的であり、会員数の多さに驚いたものでした。今こうしてガバナーの努めが出来ているのは、本当に沢山の皆様の支えがあればこそと、改めて感謝と御礼を申し上げます。

そこで残された日々を全力で取り組む「やり残したこと」とは何か。

当地区にとって最大の課題である『会員の拡大増強であり、会員数の維持』であります。秋田県は人口減少に歯止めがかからない。少子高齢化が加速度的に進み、全国一の記録更新中、そんなマスコミの記事に共感し、ロータリーの会員は増やせるわけがない、と思っていませんか。

実は正直私も思っていました。でも現実には会員を増やしているクラブがあるのです。そこでそのクラブに聞いてみました。答えは「危機感」でした。クラブの存続とは何か、クラブの存在意義は何か、会員のロータリーに対する思いとは、をお聞きしました。そして「危機的状況」をクラブ会員全員が共有し、行動へと動いた。結果、皆さん熱意に負けて入会へ結びついたと。

改めて私自身も心を鬼にして再度皆さんにお願いします。仲間を増やしましょう。決して諦めず目標に向けて頑張りましょう。「やる気がなければ愚痴が出る。やる気になれば知恵が出る」そこに真の成長があると思います。

最後に「退路を探すな、活路を探せ」そして「窮すれば通ず」。この言葉を私からの今月のメッセージと致します。



PRESIDENT'S MESSAGE

ロータリーの若き行動人たち

私たちが長年、どれほどロータリーで経験を重ねてきても、若いリーダーのエネルギーと新しい視点から得ることは常にあります。今月の会長メッセージは、その若きリーダーの一人、ヴィトール・ホベンティノさんにお任せしました。ホベンティノさんの寄稿文は、チームワークとインクルージョンがどのように変革を生み出すかを、再認識させてくれます。これを読んで彼の洞察に思いを巡らせ、その情熱を共有し合い、新しい学びの機会としてください。

2024-25年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(米国ペンシルベニア州のマクマリーRC所属)

私は、青少年プログラムの力を実感した瞬間を、鮮明に覚えています。それは、ロータリー青少年交換学生としてオーストラリアで過ごしていたある土曜日の朝のこと。私は他の若いリーダーと共に、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)に参加していました。

主催者から「床に広げた大きなシートの上に立ったまま、誰も下りることなくシートを半分に折る方法を見つけなさい」という課題を与えられました。

最初は簡単そうに思えましたが、いざ動き、作戦を立て調整していくうちに、実はチームワークと機敏性、そして絶えずコミュニケーションが求められる課題だと分かりました。ロータリーアクターとロータリアンが私たちがガイドしてくれましたが、成功するための方法を決めるのは私たちでした。そこで素晴らしいことが起こったのです。誰に言われるでもなく、私たちは「誰ひとり取り残さない」ことを決めました。シートのスペースがどんどん狭まる中で、車いすを使うチームメイトを含め、全員で進める方法を見つけることにしました。シートを持ち上げ移動し、ポジションの再配置を考えながら、計画しチームとして行動したのです。最終的に私たちはみんなで協力し全員一緒に課題を達成しました。

成功を喜んでいると、参加者の1人が言いました。「社会も同じ。課題が生じて、誰かを置き去りにするのはではなく、みんなが参加できる方法を見つけることが大切なんだ」と。青年の口から出たとは思えないほど深い気付きでしたが、この体験の神髄を見事に捉えていました。

インターアクトは、若い人たちが実際に持続的なイ

パクトをもたらす奉仕プロジェクトを生み出す力を与えます。青少年交換は、視野を広め、高いリーダーシップスキルを持ったグローバルな人材を育成します。RYLAは、人々を鼓舞して動かす力を備えた若いリーダーを育てます。これらは全て、若者の行動を通して現れる「ロータリーのマジック」です。これらのプログラムは、変化する世界でも発展し、変化に適応するロータリーの実力の中核をなしています。

ただし、これらのプログラムを成功に導くのは、若いリーダーたちだけではありません。その可能性を信じてくれるロータリーの会員が必要です。だから私は皆さんにお願いしたいのです。インターアクトクラブのスポンサーとなってください。交換学生のホストファミリーとなってください。RYLA参加者を支援してください。皆さんの参加によって、これらのプログラムが支えられるだけでなく、そのインパクトが何倍にも広がり、若いリーダーをロータリーの受益者から、実際に活躍する貢献者へと導くのです。

すでに青少年プログラムを支援してくださっている皆さまには、改めてお礼申し上げます。皆さまのご指導とご参加が、大きな効果を生み出しています。そして、参加を検討されている方には、今がまさにその時です。なぜなら青少年のリーダーシップは、「ロータリーの未来」ではなく、ロータリーの現在そのものだからです。

「第2回ガバナーノミニーラーニングセミナー」と「クラブ活性化セミナー」に参加して

RI2540地区GN 土館 守

4月16日(水)より「第2回ガバナーノミニー研修」を東京駅丸の内JPタワーホールカンファレンスビルにて、全国から33名の仲間が集まり、3つのゾーンに分けて研修を行いました。

初めに、前RI理事の佐藤様より「ガバナーというのはRIの役員であり、地区においては役員の立場で説明しなければならない」との講話がありました。

またアーチックRI会長より「良いことのために手を取り合おう」を推奨して欲しい。そして成長が重要でロータリー会員は行動する人々であれ、ということでありました。

次に分科会では、第1の課題としてロータリーの優先事項として地域リーダーとの協力です。地域リーダーは①ロータリーコーディネーターとして、会員増強、新クラブを作る時の支援、退会者を防ぐ方法、女性会員を増やす方法、ローターアクトを作る方法などをグループセッションしました。それから②ロータリー公共イメージコーディネーターではケーブルテレビと提携など具体的な話がありました。そして③ロータリー財団・地域コーデ・コーディネーターと3種類あり、ゾーンごとにリーダーがおり、さらにサブとして3名ずついます。この3つのテーマの優先事項を解決する方法を地域リーダー達とグループ協議しました。

そこでロータリー財団では、現在2540地区はベネファクターが8名しかおりませんので、これをもっと増やす方法を考えましょうという話をしました。またロータリーカードを使用して財団の寄付を増やす、またDDFをしっかり使って寄付する意味を知らせる。またサイトが古すぎるという問題も討議しました。古い写真が多いということは引継ぎが、しっかりしていないということだと思ふ事。また今後はクラブを活性させるためにはLINEの活用などもっともって対応しなければ若い人を取り込めないというような話をしました。

翌4月17日は「クラブ活性化セミナー」が始まりました。全国から350人近いロータリー会員が集まり当地区からは7名の参加でした。

内容は、ガバナーエレクトによる国際協議会の報告で会員増強、女性会員、RAC会員などのクラブ会員増強、そして行動計画、クラブ活性化となっております。

まずセッション1におきましては、RI財団委員長のマークマロニーさんからロータリーの恒久基金について説明とポリオのお話しの最後に、今後アメリカ政府が撤退してもロータリーは撤退しないという強い決意で行くそうです。さらにトランプ政権の対応に、ポールハリスの言葉「ロータリーが然るべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命でなければなりません」という言葉を紹介しておりました。この後、ロータリーの財産は最大の財産は、会員である。そして、会員に、革新性継続性パートナーシップを求めるということで、佐藤前RI理事から説明がございました。そしてロータリーのビジョンとして、私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を持つために人々が手を取り合って行動する世界を作りましょうということをお話しました。

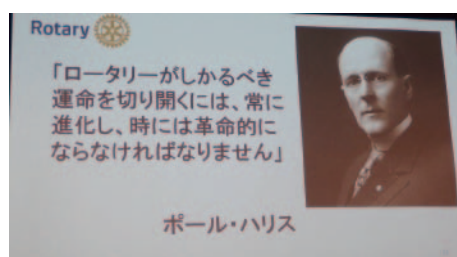
次に、第一の課題としてポリオ。これは今現在あと一歩まで迫っております。そして会員数です。世界的に減少している中でアジアは伸びており中でも、フィリピン、韓国、インドが伸びているそうです。ローターアクトは、世界的に会員が減少している話をしておりました。

次にガバナーエレクトから国際協議会の報告がありまして、9日から13日までの5日間フロリダのオーランドで開かれた会議の様子が語られました。

マルコ次期RI会長が掲げる日本の課題ということで、一つは女性の割合が日本は少ない。だから日本は大きなインパクトがある。2つ目としてRI委員会の参加を促す。RIには162の委員会中、日本人委員はわずか3人です。もっとRIの委員会に参加してくださいとっておりました。

3つ目として、DDFの未使用を減らすということでDDFを活用し、積極的に活動しようということをお話しておりました。

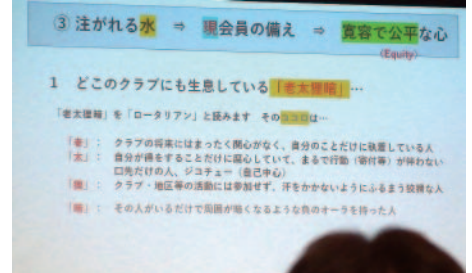
また大切なのはクラブでの体験ということで、奉仕の機会によって地元や世界の地域社会に変化をもたらしている。会員が例会を楽しみ会員同士が居心地よく過ごせる。会員が有益な連携と個人的つながりをもっているなどです。



次に3イヤーロールゴールの策定がありました。ロータリーの3年計画なんですけれどこれは別に難しく考えるのではなく「単年度主義に有効な事業の継続を加味する」ということから始めれば、という話でございました。そして大切なのは既存のクラブの活性化と、新しいクラブを作ろうということです。また、世界では毎年15万人の新会員が入りますが16万人会員が退会届を出している。対策として、クラブの活性化、魅力あるクラブ作りが大切で、魅力あるクラブになるためには、時とともに変わるメンバーのニーズ、何を求めて入会し、メンバーであり続けるかを、真剣に考えなければならぬ。そのためには、新会員に寄り添うことが重要だという話でございました。これで午前の部は終わりです。



17日午後からのセッションは、行動計画で何をすべきか、という表題から始まり、新クラブ結成と会員増強の話がありました。発表者の中には2540地区の桑山エレクトが多様性ということで女性の場合は、隠れ無意識の差別が注意すべきことだと、しゃべっておりました。当地区は、10人未満のクラブが7クラブ5人以下のクラブが3クラブもあって、これは我が地区の宝物です、と言っておりました。なおセッションで言われたのは10人以下のクラブは割としぶとくて、クラブが終結しない。しかし10人から15人くらいの間のクラブが意外と終結しやすいので、十分なケアが必要だ、というような話をしておりました。



更に、シニア会員には、「老太狸暗(ロータリアン)にはなるな!」というお話がありました。これは、「自己チューで、汗をかかず、居だけで周りが暗くなる会員」との事です。

大会2日目午後からはガバナーエレクトノミニーの情報交換会がございました。

次に米山記念奨学会の委員より、米山奨学会では、10年先を考えるタスクフォース。日本の学生も支援すべきだという意見が各地区より寄せられており、そこで、日本の学生が海外に行く場合にも使用できるようにしたら良いのではないかとすることで「まずは実態調査から始めよう」という事になりました。

北区IM報告

北区(大館・鹿角分区)ガバナー補佐 西村 政幸

3月29日(土)大館市のプラザ杉の子において「2024-2025年度北区インターシティミーティング」を開催しました。

「今さら聞けないロータリーのこと」をテーマに北区内の各クラブから寄せられた質問にガバナーや地区役員に回答(意見)を貰い更に会場からの意見も頂く形で進行了ました。

活発な質疑応答が行われ有意義なミーティングだったかと思います。

以下質問の抜粋です。

- ロータリー財団「地区補助金」について
- 会員増強と地区合併について
- ガバナー事務所、エレクトと事務所固定化について
- パストガバナーの定年制、定員制について
- ORCCの活動事例について
- ORYLAの活動事例について



2025年度 米山カウンセラー・米山記念奨学生オリエンテーション報告書

第2540地区 米山奨学委員会 委員長 清水 俊明

2025学年度 米山カウンセラー・米山記念奨学生オリエンテーションが、去る4月26日土曜日に開催されました。本行事は、今後一年間、地区で奨学支援活動を共に行うカウンセラー、世話クラブの皆様、そして新たに採用された奨学生の皆さんが一堂に会し、米山記念奨学事業の理念と意義を再確認し、相互の理解と信頼関係を築くことを目的として実施されております。

私は委員長として、スライド資料を用いながら、制度の概要、カウンセラー・世話クラブとの関係性、日常的な交流のあり方、そして支援を通じて育まれる「絆」の価値について、プレゼンテーション形式で説明いたしました。

奨学生の皆さんは、初めてのロータリー行事に緊張しつつも真剣なまなざしで耳を傾け、またカウンセラーやクラブ関係者の皆様からも、実践的な支援に活かせる内容だったと好評をいただきました。

オリエンテーション終了後は、交流会が行われ、ガバナーエレクトをはじめとする地区役員・幹事の皆様、大学関係者、カウンセラー、世話クラブ、奨学生らが参加。各テーブルでは、言語や文化の壁を越えて、温かな会話が交わされ、会場全体に和やかな空気が広がりました。このような場を通じて、「支援する・される」という関係を越えた人間的なつながりこそが、米山事業の根幹であることをあらためて実感いたしました。

本事業は、ロータリーが掲げる「国際理解と平和の推進」を体現する活動であり、支援者と奨学生が互いに学び合い、成長し合える貴重なプログラムです。今後も本地区における米山記念奨学事業が、より多くの人々に支えられ、さらに意義深いものとなるよう、委員会としても努めてまいります。



新会員紹介



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 矢野 健太郎 (やの けんたろう)
職業分類 ホテル業
勤務先 (株)秋田キャッスルホテル
役 職 執行役員 経営企画部長
入会年月日 2025年5月1日
紹介者 刀根 一・進藤 大



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 加藤 正則 (かとう まさのり)
職業分類 葬儀業
勤務先 (株)メモリー
役 職 代表取締役会長
入会年月日 2025年3月
紹介者 今野 宏



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 関口 孝彦 (せきぐち たかひこ)
職業分類 飲食業
勤務先 石臼挽き、純手打ちそば
役 職 店長
入会年月日 2025年5月20日
紹介者 佐々木 彰



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 佐々木 律成 (ささき りつせい)
職業分類 教育・学習支援業
勤務先 国立大学法人弘前大学
役 職 副理事
入会年月日 2025年3月
紹介者 今野 宏



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 佐藤 英 (さとう すぐる)
職業分類 薬剤師
勤務先 (有)おやま薬局
役 職 取締役
入会年月日 2025年4月1日
紹介者 斎藤 智克

新会員紹介



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 三浦 伸寛 (みうら のぶひろ)
職業分類 銀行業
勤務先 北都銀行
役 職 支店長
入会年月日 2025年4月30日
紹介者 鈴木 幹



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 武藤 淳子 (むとう じゅんこ)
職業分類
勤務先 (有)ミウラ
役 職 代表取締役
入会年月日 2025年3月
紹介者 新山 良洋



入会クラブ 湯沢ロータリークラブ
氏 名 浅井 寿 (あさい ひさし)
職業分類 銀行業
勤務先 北都銀行 湯沢支店
役 職 支店長
入会年月日 2025年4月24日
紹介者 松田 圭司



入会クラブ 矢島ロータリークラブ
氏 名 梶原 哲也 (かじわら てつや)
職業分類 信用金庫
勤務先 羽後信用金庫矢島支店
役 職 支店長
入会年月日 2025年4月1日
紹介者 佐藤 成孝

ロータリー財団

大曲ロータリークラブ

高柳 恭侑

Takayanagi Kyoyu

入会年月日 1986年6月
2015～2016年度 会長
ベネファクター 1回目



大曲ロータリークラブ

三浦 豊

Miura Yutaka

入会年月日 2008年7月
2020～2021年度 会長
マルティプル・ポール・ハリス・フェロー 6回目



大曲ロータリークラブ

今野 宏

Konno Hiroshi

入会年月日 2010年2月
2017～2018年度 会長
マルティプル・ポール・ハリス・フェロー 3回目



米山記念奨学会(米山功労者)

大曲ロータリークラブ

鎌田 俊

Kamada Shun

入会年月日 年 月
20 ～20 年度
米山功労者 5回目



「私たちロータリアンは、 東日本大震災のことをけして忘れません」

4月、桜の花もおわりましたが、ロータリー希望の風奨学金には新しい1年生が14名登録されました。会計報告で奨学金の4月実績が0円となっています。当奨学金の手続きとして、新入生に対しては当年4月1日以降の在学証明書を、2～4年生に対しては在学証明書並びにアンケートへの記入・提出を求めています。それらの確認後、奨学金を送金しますので、4月分の奨学金は5月分と合わせて5月に送金しています。

2025年2月～4月 収支計算報告 2025.4.30現在

		2月実績	3月実績	4月実績
前月繰越金		219,651,076	216,651,506	220,349,866
収入の部	支援金	1,096,075	7,813,749	4,430,323
	雑収入	9,085	0	0
収入合計		1,105,160	7,813,749	4,430,323
支出の部	奨学金	4,100,000	4,100,000	0
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	4,730	4,730	4,730
	手数料	0	0	0
	消耗品費	0	0	20,900
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	0
	雑費	0	10,659	0
支出合計		4,104,730	4,115,389	25,630
次月繰越金		216,651,506	220,349,866	224,754,559

※奨学金の3月分には、本年3月に卒業する奨学生分も含まれています。

※雑費は、ハイボーボックス社に対するロータリー希望の風ホームのSSL更新費用です。

奨学生の状況(単位:人数) 2025.4.30現在

年度	現在	継続	新規	再開	退学	休学	留学	停止	卒業	次月継続
96	60	82	14					14	21	60

(注) プログラム開始からの奨学生は601名、卒業生は439名、休・退学者は102名ですが、2025年4月30日現在の給付生は46名です。2025年3月での卒業予定者21名にも奨学金は支給しています。

地区別支援金 4月分

2540地区	1件	5,000円	2570地区	1件	80,000円
2580地区	12件	3,880,660円	2700地区	1件	130,663円
2720地区	1件	60,000円	2790地区	4件	264,000円
匿名希望	1件	10,000円			

※クラブ名等は「ロータリー希望の風奨学金」のホームページの支援者名簿をご覧ください。

ロータリー希望の風奨学金の支援活動をご紹介します

以下は支援金を送金された際、皆様をお願いしております送金確認書のコメント欄に寄せられたメッセージをご紹介します。

2025.04.25 国際ロータリークラブ第2580地区ロータリー希望の風委員会

2025年4月24日開催、2025年度国際ロータリー第2580地区大会の参加者による募金です。

2025.04.16 2580地区東京東ロータリークラブ

当クラブの創立70周年に伴う寄付

2025.04.04 2580地区東京練馬西ロータリークラブ

いっどこで遭遇するかわからない災害に、人間が助け合うことが原点です。頑張りましょう。

お詫びと訂正: 前126号の中で、2790地区船橋東ロータリークラブ山崎伸一様とご紹介致しましたが、正しくは、山崎新一様の誤りでした。訂正をさせていただきます。

ロータリー希望の風奨学生のアンケートのコメントより

以下は毎年3月に、奨学生に対して提出を求めているアンケートの3項目の一つの「[ロータリー希望の風奨学金]に対し、感じている事をお書き下さい」に対する回答の中からご紹介しています。

大学2年生

奨学金やプログラム等で、金銭面だけでなく、震災に対する考えを深めることができたことへの「感謝」を実感している。

大学2年生

震災を経験し、辛い事がたくさんあったけれど、支援してくださる方々のおかげで不自由なく暮らすことができ、とても感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。

専門学校2年生

一人親なので、アパートの家賃に充てられて親も感謝しています。

大学3年生

あと2年がんばります。ありがとうございます。

.....事務局からのお願い.....

ご支援を頂ける皆様へ

支援金のお振込みを頂きました時に合わせて「**送金確認書**」をご記入の上、協議会事務局までFAXまたはメールでお送りください。

領収証とお礼状をお届けします。

「送金確認書」は、「ロータリー希望の風奨学金」のホームページのMENUの【ご支援くださる方へ】を開いていただくとありますので、ご利用ください。

追、「送金確認書」のご送付有り難うございます。「送金確認書」を、お送り頂きますと、支援者の皆様のお名前をホームページへ追加する際、地区名、クラブ名やお名前を追加表示する作業を手短に済ませることができます。今後とも、よろしくお願い致します。

■連絡先 ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内
Tel:03-5250-2050 Fax:03-4586-6393
メール:mail@kibounokaze.com

■支援口座(口座名義) ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
千葉銀行 銚子支店 普通 3549340

会員数の増減及び出席率

区分		クラブ名	会 員 数					会員数の増減		年度平均 出席率
			2024年 6月末	2024年 7月末(A)	2025年 4月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)-(A)	純増割合	
北 区	大館・鹿角分区	大 館	37	36	38	4		2		
		花 輪	20	20	19			-1		
		鷹 巣	7	7	7	1		0		
		大 館 北	21	17	18	3	1	1		
		十和田秋田	25	26	27	1	1	1		
		大 館 南	31	31	31		1	0		
		大 館 中央	14	15	15	1		0		
	能代・男鹿分区	能 代	51	51	52	9	2	1		
		男 鹿	10	9	9	3		0		
		二 ツ 井	5	5	5			0		
		五 城 目	12	12	12			0		
		潟 上	30	33	28		1	-5		
		男 鹿 北	11	11	10			-1		
		山 本	12	12	12		1	0		
	能代白神	13	14	14	6		0			
中 区	秋田分区	秋 田	106	105	110	5	2	5		
		秋 田 東	83	83	77	4	1	-6		
		秋 田 港	47	46	44	8		-2		
		秋 田 北	57	58	58	5	1	0		
		秋 田 南	35	38	40	4	1	2		
		秋 田 中央	40	40	42	5		2		
		秋 田 西	17	20	20	2	2	0		
	本荘・由利分区	本 荘	33	33	35	1		2		
		矢 島	7	7	7			0		
		象 潟	8	8	9	1	0	1		
		本 荘 東	19	17	19	3		2		
	本 荘 南	5	5	6	2		1			
南 区	大曲・仙北分区	大 曲	42	43	52	3	2	9		
		角 館	13	14	14	3	1	0		
		大 曲 南	14	14	14	2		0		
		大 曲 中央	8	8	11	6		3		
		田 沢 湖	17	17	18	1	1	1		
		大 曲 仙 北	11	11	11	5	1	0		
	横手・湯沢分区	湯 沢	65	66	69	2	5	3		
		横 手	53	53	53	2		0		
		横 手 南	67	67	65	0		-2		
		西馬音内	15	14	11		1	-3		
		湯 沢 南	22	22	22	1	2	0		
		稲 川	13	13	15	3	1	2		
		横 手 東	11	11	11			0		
合 計			1,107	1,112	1,130	84	19	18		

①※印のクラブは未提出のクラブでマイロータリー参照

②40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計